

一言提案から 実現したこと

プレーパーク常設化、子どもオンブズパーソン以外にも、一言提案から生活者ネットが提案し実現した施策は多くあります。2004年には東京都で初めての「小金井市の地下水及び湧水を保全する条例」を制定。条例で設置した「地下水保全会議」では、大きな工事の際には地下水が分断されないように監視しています。



写真上：「小金井生活クラブ運動グループ地域協議会」から市長へ予算要望書提出。
写真左上：「梶野公園まつり」で大活躍した「かまどベンチ」
写真左：生活者ネットの提案でできた「公害ポスター」



柔軟仕上げ剤などの
その香り苦手な人がいるかも！

香りのマナー

香りの感じ方には、個人差があり、自分には「いい香り」でも周りの人は強い香りに感じることもあります。周囲への心くばりを忘れずに！

心くばりのポイント

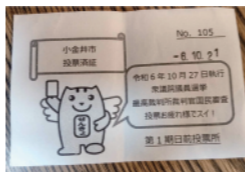
- ①使用量の目安を守りましょう
- ②商品の表示等に記載された香りの強さを参考に使用しましょう

困ったとき、不安に思ったときは
一人で悩まず相談してください！
小金井市消費生活相談室
☎ 042-384-4999

プレーパークの 常設化までには6年

また、梶野公園に1台ある「かまどベンチ」も、生活者ネットが議会で市民の声を伝え設置を提案。市民の陳情によってようやく設置された経緯があります。その他、避難所となる学校体育館の天井やガラス窓などの「非構造部材」の耐震化も、「学校体育館の天井の照明が揺れて危ない」という保護者の声から実現されました。その他、学校給食残渣のたまり、学校のトイレの清掃、石けんの導入、柔軟剤など強い香りへの配慮を求める「香害ポスター」掲示、最近ではキャラクター付き投票済証なども、市民の声から議会に繋ぎ、実現させたものです。

また、梶野公園に1台ある「かまどベンチ」も、生活者ネットが議会で市民の声を伝え設置を提案。市民の陳情によってようやく設置された経緯があります。その他、避難所となる学校体育館の天井やガラス窓などの「非構造部材」の耐震化も、「学校体育館の天井の照明が揺れて危ない」という保護者の声から実現されました。その他、学校給食残渣のたまり、学校のトイレの清掃、石けんの導入、柔軟剤など強い香りへの配慮を求める「香害ポスター」掲示、最近ではキャラクター付き投票済証なども、市民の声から議会に繋ぎ、実現させたものです。



「投票済票のデザインを工夫して、投票率を上げよう」という安田けいこの提案で、選挙キャラクターが入ったデザインに変更された。

市議からのメッセージ

市議会議員 安田けいこ



松下玲子さん 衆院選比例区で初当選！

10月27日に行われた衆議院解散総選挙で、東京・生活者ネットワークが推薦した立憲民主党の松下玲子さんが初当選。選挙区では自民党の福田かおるさんに2182票差で惜敗しましたが、比例区で復活当選を果たしました。小金井では約1年前から市民有志が「松下玲子かねい市民応援団」を作り、独自の活動を展開。生活者ネットも松下さんの話を聞く小さな集まりを開くなど、地域での支持を広げました。



結果、小選挙区での勝利はなりませんが、小金井では福田さんの票を1864票上回り、比例区での復活当選に大きく貢献しました。介護保険制度の充実、選択式夫婦別姓の即時実現、反戦、脱原発、気候危機対策など

松下さの掲げる公約に共感し、そのブレない姿勢で国会で活躍することを期待します。

開票結果	西東京市	小金井市	武蔵野市	合計
松下玲子 (立憲民主党)	40,407	26,112	30,301	96,820
福田かおる (自民党)	40,915	24,248	33,839	99,002
樋口まこと (共産党)	7,833	4,822	5,857	18,512
徳永ゆきこ (参政党)	8,391	5,114	5,991	19,496



市議

オンブズパーソン 設置には13年

2009年6月議会を皮切りに、生活者ネットは何度も「子どもオンブズパーソン制度をつくらないか」と求めました。しかし市は、子ども家庭支援センターなど相談窓口はありとし、教育委員会も「学校は子どもの声を聞くのは得意！」なので必要ないとの考えでした。そうした中で、市民団体が2018年12月市議会に提出した「子どもの最善の利益を保障する『子どもオンブズパーソン』の設置を求める陳情書」が賛成多数で採択されました。その後も議会での議論は続きましたが、2022年4月「小金井市子どもオンブズパーソン条例」が制定され、9月に「小金井市子どもオンブズパーソン」の窓口が開設されました。



市民と共にトイレのバリアフリーを徹して、「誰でもトイレ」を提案。公共施設に増設することができた。



市民と議員の協働で 政策を実現

「持続可能なまちづくり」プレーパークの常設化を通して、子どもがのびのびと育つまちづくりを市の事業にすることが、どれだけ重要か実感しています。子どもの「やってみたい！」気持ちを引き出し、失敗を乗り越える力を育みます。また、将来子育てするまちとして選ばれる、持続可能なまちづくりにも繋がります。これらの施策は市民だけでも議員だけでもなく、市民と議員の協働で行政や議会に取り組みがあったからこそ実現したものです。生活者ネットワークは、政治と暮らしを結ぶための情報発信や調査活動を、これからも市民と共に続けていきます。
(田頭祐子)

市民

「琉球弧を戦場に するな」 上映会&平和トーク

9月28日(土)マミンカの家で平和部会主催の上映会を行いました。ゲストは沖縄出身の米須清真さん、総勢23名の参加でした。「沖縄辺野古はニュースで知っていましたが、今回の映画で南西諸島配備、増強計画がこれほど進んでいることは知らなかった。」「一人一人の力は弱いがこの状況を広く伝えたい」といいます。「美しい沖縄の島々に駐屯地が作られミサイル部隊配置、地下司令部、弾薬庫、島民たちは反対の座り込み、それを排除する自衛隊。衝撃の映像でした。」など、参加された方々が皆熱く思いを語ってくれました。(仲)



▲上映会後に米須さんから沖縄についてお話を伺い、意見交換をしました。

しゃべり場 ・ふらりねっと in 楽習館

9月12日(木)午後1〜4時、環境楽習館にて、「親の老後、自分の老後、長生きしたらどうしよう。将来の漠然とした不安を話してみませんか?」と題し、事務所以外の場所での出張ふらりねっとを開催しました。「気軽にどうぞ」と参加費は100円、申し込み不要。主催は小金井・生活者ネットワーク福祉部会です。環境楽習館は初めてでしたが、気持ちの良い場所でしたし、「近いから来た」と言う初めましての参加者もいらして、総勢8名。老後のことをあれこれおしゃべり。第1回としての良い手応えを感じました。(環)



▲環境楽習館にはカフェ機能があり、集会室を借りてゆったり過ごしました。